

ピンクシャツで 「いじめ反対!」

問 こども・いじめ何でも相談課 ☎924-3954 FAX 924-9304

今年のピンクシャツデー(いじめ反対の日)は、2月26日(水)です。今月号の特集では、本市のピンクシャ
ツ運動についてご紹介します。



クイズやおQ

本市製作のピンクシャツの背面には、何
と書いてあるでしょうか?

ヒントはP2、答えはP5をチェック!

interview

私たちが
ピンクシャツを
着る理由

令和5年度からスタートした本市の「ピ
ンクシャツ運動」に賛同し、活動されてい
る皆さんにお話を伺いました。

八尾市女性団体連合会では、「いじめ反
対の強い思いを表現したい」と、さまざま
なイベントや講演会などで積極的にピン
クシャツを着用。角田禮子会長は
「いじめは人権に関わるもの。こ
どもだけでなく社会全体の課題
として取り組みたいと考えてい
ます」と語ります。「ピンクシャ
ツを着ているとよく声を掛けられ
るので、その際は活動についてお



八尾市女性団体連合会会長
角田禮子さん

美園小学校区
まちづくり協議会会長
高木吉久さん



高美中学校 PTA
近藤直子さん(左)、
植田昭子さん(右)

ピンクシャツ運動ってなーに!?

ピンクシャツを着たり、ピンク色のものを身に着けることで「いじめ反対」の意思表示をする運動です。2007年にカナダの学生が起こした行動がきっかけとなり、現在は約180の国や地域に広がり世界的キャンペーンの一つとなっています。



ピンクシャツ運動は、実話から誕生しました!

2007年、カナダの中学校で、男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけに、からかわれ、暴行を受け、耐えきれずに帰宅してしまいました。



いじめなんて、うんざり! / 明日みんなでピンクシャツを着よう!



そのことを聞いた先輩2人が、「いじめなんて、もう、うんざりだ!」「アクションを起こそう!」と思い、その日の放課後、ピンク色のシャツやタンクトップを買いこみました。

そしてその夜、学校の掲示板やメールなどを通じてクラスメイトたちに「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう!」と呼びかけました。

翌朝、2人はピンク色のシャツやタンクトップを手に登校しました。校門で配り始めようとする中、ピンクシャツを着た生徒たちが次々と登校してきました。

ピンクシャツが用意できなかった生徒たちも、リストバンドやリボンなど、ピンク色の小物を身に着けて登校してきました。中には、頭から爪先まで、全身にピンク色をまとった生徒もいました。

いじめられた生徒は、ピンク色を身に着けた生徒たちであふれる学校の様子を見て、安堵の表情を浮かべていたそうです。以来、その学校でいじめを聞くことはなくなりました。



いじめに対して、学生たちは言葉や暴力ではなく行動で意思表示をしようと立ち上がったのです。

本市は、こうした学生たちの行動に賛同し、ピンクシャツ運動を実施することで、たくさんの人が改めて「いじめ問題」について考える機会を持ってもらうことが、いじめの早期発見・早期解消につながるのではないかと考えました。



日本でもこの取り組みが広がっています!

話します。この鮮やかなピンクのシャツは、運動の取っ掛け。私たちだけでなく、もっと広げて大きな輪にしていきたいですね。

「すごくシンプルでポジティブな運動だなと思って」と語るのは、高美中学校PTAの近藤直子さん。いじめという難しい問題に向きに取り組めるところに賛同し、2年続けて「ふれあい祭り」でピンクシャツ運動を発信しています。同じくPTAの植田昭子さんは、実話から始まっていることに共感。「ただの『いじめ反対』ではなく、カナダのこどもたちが仲間を思ってた活動がきっかけだと知って、より積極的に参加しようと思えました」。

高木吉久さんが会長を務める美園小学校区まちづくり協議会は、地域を挙げて活動に参加。夏休みの行事では小学6年生のこどもたちも着用し「自分では遊びのつもりでも、相手はいじめと感じるかもしれない」など、こどもたち自身がいじめについて考えるきっかけになったと言います。「いじめをなくすことは、地域の発展にもつながります。こどもたちが安心して育ていけるまちを作ること、その子たちが将来また八尾に戻って来てくれるだろうと思います」。





こども家庭庁・三原じゅん子大臣 との意見交換会に出席しました

いじめ対策に先進的に取り組む自治体として、三原大臣と自治体関係者とのいじめ防止対策に関する意見交換会に、本市から市長および職員が出席しました。



意見交換会のもようはニュースなどのメディアでも取り上げられました！

先進的な取り組みを行う自治体として出席

令和5年度、全国の学校が認知したいじめの件数、いじめの重大事態の発生件数が、いずれも過去最多となっています。こうした状況を踏まえ、三原こども政策担当大臣の呼び掛けにより、いじめ問題に対して先進的な取り組みを行っている自治体や、いじめ問題にかかわる専門家との意見交換会が行われ、本市から大松市長と重村こども総合支援センター長が出席しました。

一八尾市からの事例報告

意見交換会では、本市のいじめ問題に対する取組事例を紹介。大松市長からは、いじめ問題に対して迅速な対応を図るため、令和2年4月に学校や教育委員会とは異なる客観的な立場からの相談対応を行う部署として市長直



右から大松市長、三原こども政策担当大臣、重村こども総合支援センター長、清原こども家庭庁参与

轄組織である「いじめからこどもを守る課」を設置し、弁護士や心理士、教職経験者などの専門職員を配置したこと、また、令和6年4月からはいじめ問題のみならず、こどもに関わるさまざまな課題に対して一元的に対応を行うため、「こども家庭センター」内にいじめ担当班を設置する体制とし、インターク班がこどもの総

合相談窓口として対応および適切な支援機関につなげていることを報告しました。

重村センター長からは、令和5年度に全国で初めて市長部局にいじめ報告相談アプリを導入し、現在では市内の全市立小・中学校・義務教育学校（小学4年生以上）にアプリが導入され、相談件数が伸びていること、また、いじめ防止や対応に関する出前講座やピンクシャツ運動による啓発活動の内容、毎年5月と10月を「いじめ防止啓発強化月間」とし、全児童・生徒にクリアファイルを配布し、相談窓口の周知を行ったほか、市長部局と教育委員会の連携の取組などについて報告をしました。

地域社会全体で

いじめ防止に取り組んでいく

これらの報告に対し、3名の

概要

●日時 令和6年11月21日(木)11:45～12:45

●場所 こども家庭庁大臣室

●出席者

三原 じゅん子 こども政策担当大臣

清原 慶子 こども家庭庁参与（前三鷹市長）

【自治体関係者】

大松 桂右 八尾市長

重村 吉則

八尾市こども若者部次長 こども総合支援センター長

上野 大五 熊本市こどもの権利サポートセンター長

【いじめ調査アドバイザー】

石川 悦子 こども教育宝仙大学教授 臨床心理士

森本 周子 弁護士（第二東京弁護士会所属）

八並 光俊

東京理科大学教育支援機構教職教育センター教授、
日本生徒指導学会会長

専門家から事例の考察や、「学校だけでなく自治体や警察などを含めた地域全体で対策に取り組む必要がある」という指摘がありました。

三原大臣は、こうした取組みを更に全国に広げていくため、こども家庭庁が文部科学省をはじめ各省庁と連携し、自治体における首長部局と教育委員会の連携や、地域社会全体でのいじめ防止対策事業の支援をしていきたいと語られました。



意見交換会の様子を市ホームページに載せています。



コラム 法律における学校でのいじめの定義について

法律上の学校での「いじめ」の定義は、**子ども同士のなかで、たとえ悪気なく行ったことでも、された側が苦痛を感じたら「いじめ」になります。**子どもが感じた苦痛をまず周囲がしっかりと受けとめ、寄り添いながら、その子を守ることを原則に、原因を探り、問題を解決していくという理念の表れです。

「いじめ」は、謝罪や罰則ありきの解決ではなく、ケースに応じ、傷ついた子どもが笑顔に、そして互いの大切さを確認しあえるような解決をめざします。

「いじめ」の数は、**子どもの傷つきの数**ともいえます。わたしたち周りの大人も、子どもの心に寄り添いながら、子どもが笑顔になれるよう、協力しあう必要があります。

誰もが生きていくことの幸せを感じ、互いを尊重しあい、高めあっていけるあたたかい社会を創っていくために、「いじめ」防止に社会総がかりで取り組んでいきましょう。



いじめの定義も、時代によって変化しています!

困ったとき、つらいとき、ひとりで悩まないで!

いじめの報告や悩みを相談できるアプリ「STANDBY(スタンバイ)」を全校導入しました。GIGAスクール端末のほか、パソコンやスマートフォンから、匿名でいじめの報告や相談をすることができます。報告や相談には、「子ども・いじめ何でも相談課」の心理士などが対応します。



対象: 市内の市立小・中学校・義務教育学校(小学4年生以上)



いじめを受けたり、いじめを見たり聞いたりしたときに相談できるよう、「やおこ手紙相談」を実施しています。ひとりで抱え込まず、どんなことでも相談してください。「子ども・いじめ何でも相談課」の「やおこ相談チーム」が、悩みごとや心配ごとの解決策と一緒に考えます。

対象: おおむね18歳までの子ども(市立学校以外も可)



●用紙の配架場所
コミセン、図書館、青少年会館など公共施設



相談は無料で、相談した人の秘密はしっかり守られます。「つらい」と感じたらいつでもぐに相談してください。

商業施設と一緒に
いじめ反対!

ピンクシャツウィーク開催!

期間 2月22日(土)~26日(水) ※店舗によって異なる場合があります

参加店舗 アリオ八尾、LINOAS

市内の商業施設で、「ピンクシャツウィーク」を開催します!ピンクのものを身に着けていると、何かいいことがあるかも!? 詳細は、各商業施設のホームページをご確認ください。

アリオ八尾



LINOAS



ピンクを身に着けることで、いじめについて考えるきっかけに!

ピンクのものを身に着けて、
出かけよう!



クイズやおQの答え

ピンクシャツの背面には「いじめ防止に一步ふみだそう!」と書かれています。このメッセージは、市内の小・中学生を対象にした「子どもサミット」のテーマとしても掲げられました。